

笑顔が一番

令和7年 4月

今江こども園 1号

二木 恵子

入園、進級おめでとうございます

新園舎になり初めての入園式を4月4日に無事行うことが出来ました。喜びに満ちた保護者の皆様、子ども達の様子を、新園舎も喜んでるように感じました。

何もかもが新しく、子ども達が新しい園舎に戸惑いを感じるのではと心配しましたが、子ども達はすぐに慣れ、元気に活動を始めてくれました。改めて子ども達の順応力の大きさを感じました。

小さいお友達は、初めはお家の人から離れるのがさみしく泣いてしまうかもしれません。決して悪いことではありません。お部屋の活動になれば、楽しく活動できるので安心してください。

さて、園の落成式を5月17日（土）に来賓を迎え行います。青組さんが参加します。また、総会とクラス懇談を5月23日（金）に行います。そこで、園の運営方針についてお話しします。

では、毎年「笑顔が一番」1号でお話している園の取り組みです。新年度のスタートにお伝えします。

0歳児からの取り組み

物事に対して自分から**やってみたいと思う意欲**があり、**自分に自信**を持って**力強く生きていける子ども**にするためには、幼児期での育ちが大切です。生きる力の土台づくりのために、0歳児から、静と動を意識したメリハリのある活動を工夫しています。

1. 心と知を育てる。

0歳児からの**読み語り**に力を入れています。

先生方は毎日2回から3回の本の読み聞かせをしています。5月中旬から赤組以上の子ども達は、本をクラスで借りて帰りますので、お子さんと一緒に本を楽しんで下さい。

他、英語、サイエンスの活動等があります。



2. 丈夫な身体を育てる。

沢山の絵本に出合うことで心を育て、体づくりは、

自然体験、園庭遊びや園外活動、0歳児からサーキット遊び等の遊びを工夫し、体幹とバランス力をつけていきます。また、食育活動も0歳児から工夫して行い、楽しみながら食事ができるようにし、丈夫な体づくりをします。

3. 小学校、中学校への学びと育ちをつなぐ。

読み聞かせ交流などしていきます。園での活動を知っていただき、スムーズな成長と学びの流れができるようにしています。今江小学校、松陽中学校、御幸中学校と交流しています。

「笑顔が一番」をスローガンに、子ども達の保護者の笑顔のために、子どもの「できる。できた！」を見つけ誉め育てていきたいと思ひます。

お家では、園から帰った時、おやすみ前に、「**今日も、よくがんばったね。大好きだよ**」と言って**ぎゅーと抱きしめて**あげてください。子どもは親に認められ抱きしめられる事で、自分の価値を確認できるのです。この毎日のたった30秒が、**子どもの自己肯定感を高め、将来のやる気、困難にも耐える力を育てる**ことになります。

自己肯定感(主体性)を高める 生きるための土台づくり

乳幼児期で育てたい力

ここ最近、子どもの主体性を育てることの大切さが言われています。そのために、子ども達のそれぞれの自己肯定感を高めることが大切です。

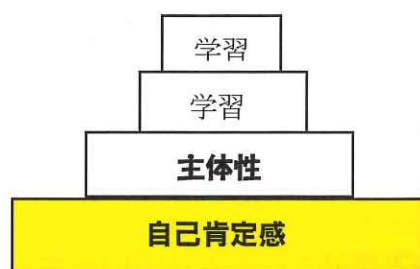
さらに、乳幼児期の育ちが子ども自身が人生を健康で幸せに生きていけることに影響することが、あきらかになっています。

子ども達がこれから生きていく中で、自ら意欲を持って活動・学習し、困難にもへこたれず乗り越えられる力「自己肯定感」を身に着けてほしいと思います。

幼児期に、自己肯定感を育てていないと、小学校以降どれだけ学習・経験を積んでも崩れてしまい、定着しません。



自己肯定感が育っていないので崩れる



主体性、学習・経験が積みあがる

幼児期に、子どもを認め褒め自己肯定感を高めておくことが、これからの子どもたちの「生きる力」や、壁にぶつかった時の「乗り越える力」になります。

危険です！



園舎奥の職員駐車場で、お子さんを遊ばせたり、線路側に行ったりと、大変危険な様子を見かけました。お子さんの大切な命を守るため、ご協力下さい。

多くの人のご縁で

令和5年からの構想に始まり、約2年をかけて新園舎が完成しました。工事の工程で、子どもの成長につながる土台づくりの大切さをこの新園舎から学びました。また、この工事がなければ知りえなかった多くの人たちの技術と知恵と情熱に感動しました。一人ひとりが、子ども達が快適に過ごせるよう何度も何度も考え直し作り上げていく姿に、感謝の気持ちでいっぱい。これから新しい歴史をこの園と私達で作り上げていかなければいけません。いよいよスタートです！

育児には必ず悩みがつきものです。今年も少しでも保護者のみなさまの助けになるよう、情報提供していきます。宜しくお願い致します。